



開催協議会名	令和8年第1回益田警察署協議会		
開催日時	令和8年2月6日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで		
出席者	協議会委員	6人	
	警察署	10人(署長・副署長・総務課長・会計課長・生活安全課長・地域課長・刑事課長・交通課長・警備課長・総務係長)	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	ドライバーに対する歩行者保護意識の向上方策
		説明概要	○ 当署管内において多発傾向にある車と歩行者の交通事故発生状況についてパワーポイントを使用し説明
		答申(意見)	1 事故事例についてはもう少し詳細な情報の提供があれば、注意すべき点が分かると思われる。 2 ドライバーだけでなく、歩行者に対する対策も必要である。自治体により取組の差はあるが、歩行者に対する反射材の配布、横断歩道を渡る際のハンドアップ運動などが良いのではないか。 3 交通ルール、道路交通法第38条(横断歩道等における歩行者等の優先)の再確認が必要である。ドライバーは慣れに陥ることがないようにしなければならない。また、大切なことなので繰り返し講習を願う。
	署長からの 報告	報告事項	○ 令和7年中の各課取組状況と令和8年益田警察署運営指針・重点目標
		説明概要	○ 配布資料を基に、今年度の運営指針・重点目標について説明
		答申(意見等)	1 横断歩道、停止線の路面標示が薄くなっているところがあり、予算の関係はあると

			<p>思われるが、修繕を願う。</p> <p>2 反射材の普及について 冬場は真っ暗で、早朝も歩行者が見えにくい、反射材はタスキのみならずいろいろなものがあるので普及をしていただきたい。</p> <p>3 警察が行う交通安全講習について 多くの講習が実施されていることが分かった。運転者の車を降りれば歩行者であり、歩行者側の視点に立った交通安全講習をすると安全意識が浸透すると思う。</p> <p><b>【警察】</b> 管内で歩行者と車の大きな事故が連続発生したことは重く受け止めている、御意見のとおりにソフト・ハード両面での対策が重要であると認識をしているところである。人命に関わることから、引き続き、速やかに補修がなされるよう本部と連携をしていきたい。</p> <p>また、歩行者の対策として、反射材の配布などを行っているが、子供向けには人気アニメのキャラクターをイメージしたものや、白バイをモチーフにしたかわいいものなどが好評である。あらゆる年齢層に着用してもらえる反射材になるように市民の声にも耳を傾け、デザイン等にも配慮したい。</p>
視	察	会議終了後、当署駐車場において警察車両の展示及び積載装備の説明を実施	
写	真		
		【会長挨拶】	【署長挨拶】



【諮問事項説明】



【委員からの提言状況】



【警察車両の展示状況】



【白バイの説明状況】